

平成 27 年度 秋期 IT ストラテジスト試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨		
IT ストラテジストには、企業の経営計画を実現するための全体システム化計画に則して、個別システム化計画に展開する能力が求められる。		
本問では、建設業におけるグローバルな環境での業務遂行体制の確立を題材として、個別システム化計画の策定能力と具体的な実践力を評価する。具体的には、①全体システム化計画から個別システム化計画への展開力、②計画実現に向けたステークホルダに対するマネジメント能力、③情報セキュリティ対策や運用業務改善案などの具体的対策の実践力を問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	海外子会社のコスト負担を軽減すること	
	(2)	ハードウェア面 サーバの用途や利用状況を見直し、サーバ台数を削減する。	
		要員面 運用の負荷を軽減しサポート可能な要員の割合を増やす。	
設問 2	(1)	個別工事の管理情報を正確に集約し、期末原価予想を正確に行うこと	
	(2)	識別コード体系を見直しグループ全体で一元化する。	
設問 3	(1)	資格、権限、役割ごとに情報へのアクセス権限を明確にする。	
	(2)	海外子会社から本社の情報を参照できる機能	

問 2

出題趣旨		
IT ストラテジストには、業務を分析して課題や改善すべき項目を抽出し、対策案を検討する能力が求められる。		
本問では、食品メーカーの物流業務の改善を題材に、業務を分析して顧客が要求する課題の解決、業務の見直しと情報の活用に関する分析能力を評価する。具体的には、①物流センタの設置によって顧客が要求する課題についての分析能力、②生産計画における情報の活用や早期に把握すべき情報についての分析能力、③メーカーとの業務見直し内容についての分析能力を問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	輸送中の製品の温度管理が可能なこと	
	(2)	在庫の不足がなくなるので、納入日数の指標が提供できる。	
設問 2	(1)	営業部員が生産計画情報をいつでも確認できるので、納期の回答が早くなる。	
	(2)	地域主要顧客が行う特売などのイベントの企画情報	
設問 3	(1)	本社でまとめて発注するので、仕入価格の削減を交渉する。	
	(2)	他社の製品に関わる顧客への出荷情報と製造ロット番号	

問3

出題趣旨		
IT ストラテジストには、IT ガバナンスを確立し、企業や組織が IT 戦略やその基となる経営戦略を実現できるよう、IT 戦略に沿った IT 管理の実行管理や評価をする能力が求められる。		
本問では、地方公共団体の IT 管理業務を題材に、情報システムへの投資の適正化に向けた情報システム企画に関する意思決定のための分析能力を評価する。具体的には、情報システム企画で実施すべきこと、情報システム投資状況や事後の評価結果から導き出せる問題の背景や考えられる改善点についての分析能力を問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	(1)	① ・費用明細が明示された見積りを徹底する。 ② ・情報システム開発に係るスキル別作業単価の指標を作成する。	
	(2)	情報システムの重要度に応じた信頼性・可用性のガイドラインを作成する。	
設問2		“戦略的投資”，“義務的投資”の投資対効果の審査は“その他の効果”が中心だから	
設問3	(1)	第三者による効果の評価指標の設定と事後評価の実施	
	(2)	派生の OSS を評価して TRM を見直す。	

問4

出題趣旨		
IT ストラテジストには、類似品のない新規性の高い組込み製品を企画する際に、どのような市場を想定し、どの市場向けの製品から開発するか、また、将来の競合メーカを想定してどう対応するかなど、適切な戦略を立案する能力が求められる。		
本問では、産業機械メーカの製品企画を題材に、企業の保有技術や既存市場を理解した上で新たな製品を企画する能力、有効な構想設計と製品展開を立案する能力、機能拡張を検討する能力を問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	(1)	安定した売上と成長が見込めるから	
	(2)	現場事情を熟知しており、製品開発における問題抽出と課題設定が容易だから	
設問2	(1)	D 社が手掛けたことのない身体との接触度が高い製品である点	
	(2)	競争力 高い生産能力と安い製品価格	
		施策 海外工場に生産拠点を移す。	
	(3)	介護現場に高い知名度をもつ Y 社ブランドの方が販売しやすいから	
設問3	(1)	使用者を使用方法の講習を受講した者に限定することで事故を防止したいから	
	(2)	本来の使用場所の外に持ち出されて悪用されることを防止する必要があるから	